

# 特別支援保護者交流会 参加報告書

令和5年1月28日(土)

報告者 幼稚園特別支援委員会 副委員長 田城 敏史

- ・開催日程：令和5年1月28日(土)
- ・開催主管：（一社）全国国立大学附属学校PTA連合会
- ・開催事業：特別支援学校保護者交流会
- ・事業内容：国立大学附属特別支援学校・学級に在籍する児童生徒の健やかな成長につながる情報共有および保護者間交流の促進
- ・開催規模：参加者約45名

## 13:30～16:30 「特別支援学校保護者交流会」

講演 テーマパークの取組紹介  
(株)アワーズ（南紀白浜アドベンチャーワールド事業運営会社） 嶋中 有樹

事例報告 子どもたちとテーマパークを訪問した際の事例紹介①  
福島大学附属特別支援学校高等部主事 佐藤 智明  
子どもたちとテーマパークを訪問した際の事例紹介②  
滋賀大学教育学部附属特別支援学校副校長 木村 政秀

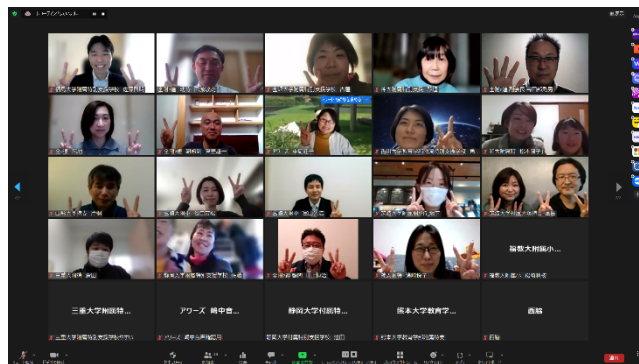
グループディスカッション  
3グループ 39名参加

講評 北海道中札内高等養護学校校長 太田 千佳子

### 【所感】

今回、「子どもたちとご家族の余暇の過ごし方について」をテーマに講演並びに事例紹介をいただいた。講演では、「すべての人がトモニ助け合って生きていける社会の実現」をビジョンに掲げる企業事例から共生社会の実現のために、企業と教育の連携を深めていく必要があると感じた。

また、事例報告では、子どもたちと先生方の日頃の取組から子どもたちの成長を強く感じる事ができた。さらに、トラブルの中でも共に協力し合い、たくましく乗り切る姿から子どもたちの可能性を改めて確信する事ができた。



# 特別支援保護者交流会 実施報告書

幼稚園特別支援委員会副委員長 宮本昌尚

開催日程：令和3年12月11日（土）

開催場所：オンライン開催（Z o o m）

参加者：本会加盟18校から申し込みのあった保護者・教職員計35名

講師：北村弥生先生（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）

佐藤勇太先生、佐藤治子さん（宮城教育大学附属特別支援学校）

統括：太田千佳子先生（全附連 副理事長）・田中一晃先生（全附連 事務局長）

## 基調講演 北村弥生先生

（国立障害者リハビリテーションセンター研究所障害福祉研究部社会適応システム開発室長）

災害時に障がい者がどうするかのマニュアルを自分で作成する必要がある。

近所や専門家に相談しながら個別避難計画（避難支援手順書）を作成し、①地域のリスクを知る②より安全な場所の確認・下見③災害時の情報入手方法の確保（複数）の準備。

そして要配慮者と地域住民との関わりが大切である。

## 実践活動協議会

### I 佐藤勇太先生、佐藤治子さん（宮城教育大学附属特別支援学校）の活動報告

特別支援学校における災害の準備として、ただ校庭に逃げる訓練から、よりリアルに身を守りながら避難する訓練に切り替え、様々な段階に応じて防災集会を行っている。

また保護者のお迎えによる引き渡し訓練や、非常食作りを経験し、普段食べなれていない非常食を食べてみることも必要であると言っていた。

そして障がいのある方は避難所に入れなかったり、適応できなかったりすることも考えられ、保護者と連携して防災リュックに長期かつ本人が食べられる物や安心グッズを入れておくことも重要であると考えていました。

### II グループディスカッション

子どもの学齢に（所属学部）ごとのディスカッション

小学部：不安軽減のため簡易ベッドで寝てみる。保護者にも理解してもらう。

中学部：避難所での困難の共有が必要、安心できるものを持つ（ワンリュックに入れる）

高等部：学校と保護者との連携で準備が必要。通学（電車等）時にはどうすれば良いか。

## 総括

太田先生：命を守るために必要なこと、自ら他者とつながることが大切。

田中先生：災害だけでなく事故や事件が多く、自分の身を守る・想定しておくことが必要。



見子で話



である。